

ひれふりやま
比礼振山のおひざもと地域でつなぐ絆と安心

～「北仙道地区自主防災会」を通しての取り組み～

益田市北仙道公民館

1 北仙道公民館の概要

北仙道地区は、益田市の北部に位置し狭姫神話の里、比礼振山のすそ野に広がる、のどかな農村地帯です。比礼振山の頂上からは益田市街が一望でき、大パノラマは益田十景の一つです。一方、少子高齢化が進み平成19年3月小学校が廃校になり、平成20年4月に小学校跡地に公民館が移転した。

2 事業の概要

(1) はじめに

- ①実証事業名 ひれふりやま
比礼振山のおひざもと地域でつなぐセーフティ
- ②実証事業のテーマ 一人ひとりがつながり、地域は地域で守る、活気あふれる北仙道
- ③実証事業のねらい

小学校の廃校により地域住民のつながりが薄れ将来に対する危機感が増している。そこで自主防災をテーマに地域の課題解決にむけた取り組みを仕掛けることで、地域住民のつながりを太くし、地域全体の活力を再生していくことを目指す。

(2) 具体的な取組（内容、活動状況 等）

- ①「北仙道自主防災会」組織の充実に取り組む
 - ア 自主防災会設立に向けて、4地区の自治会、消防の北仙道分団、民生委員、食生活改善推進協議会、デイサービス施設などの各種団体関係者と数回の検討会を開催して準備を進める。
 - イ 4月に「北仙道自主防災会」を設立し9月に二回の地域防災力向上研修会を開催した。講師には、山口大学工学部の先生を迎え、危険箇所や避難経路を確認し合った。
 - ウ 1月に研修会学習したことを基に4地区別に防災マップを作製。危険箇所や避難経路の確認、民生委員を交え、要援護者の避難方法の確認を行う。
 - エ 自主防災組織リーダー研修会等各地の研修会や講演会に積極的に参加する。



防災研修会



防災マップ作製



リーダー研修会

②公民館行事と自主防災を絡めて啓発活動を行う

- ア 運動会で消火器を使つての消火活動、丸太切り等の種目を取り入れる。
- イ 文化祭では、水害や火事の写真を展示する。
- ウ ふれあいウォーキング大会では、各コース別に防火用水の位置と写真の入った地図を配り確認してもらった。また、防災備蓄品の試食を行った。
- エ 通学合宿では、子ども達が独居者のお年寄りに手紙を書いてもらいそれを冊子にして配った。



運動会



通学合宿



ふれあいウォーキング

③「北仙道自主防災会」の啓発活動

自主防災への関心を持ってもらいたくて、オリジナルロゴマークとキャッチフレーズを地区内はもとより地区出身者にも公民館だよりを通じて広く募集した。



ロゴマークコンテスト

3 事業の成果と課題

- (1) 自主防災会が設立でき、研修や講演会に参加する事により、防災に対する認識や関心が高まった。地区別の防災マップ作製では改めて自分達の地区への愛着が強まった。
- (2) 敬老会では、小学生がお年寄りに手紙を書き「小学生に渡して」と御礼の手紙が公民館に届けられたりしていたが、通学合宿での手紙も大変喜ばれた。
- (3) ロゴマークとキャッチフレーズが決まり、自分達の防災会だと言う思いが強くなった。地区出身者にも地元の現況が知られ、愛着や連帯感を持つ

てもらえた。

- (4) もう少し若い方に参加してもらって、一緒になって活動し、地区のこれからを考えてほしい。

4 今後の方向性

- (1) 自主防災を通じて人と人とのつながり、地区を思う気持ちを大切にしていきたい。
- (2) ロゴマーク入りのスタッフジャンパー&帽子、キャッチフレーズ入りののぼりを作成して、防災会の啓発活動を行う。
- (3) 公民館グラウンドに芝生を植え、避難場所としての利用はもとより、地区民がふれあう場として気軽に集える場としていく。
- (4) 避難訓練等を実施しながら、順次、避難用品等の整備をしていきたい。

